

評価会議（平成29年度中間）における委員の評価及び意見

受託者に対する評価

1 項目ごと評価

項目		A委員	B委員	C委員
地域活動協議会の現在の状況についての分析 (配点 15 点)		12	12	13
画) 企 案 の 内 容 提 案 (事 業 計	事業の実施内容（支援策（取組）の内容） (配点 20 点)	16	13	18
	事業の実施体制等 (配点 15 点)	12	12	14
	今年度の重点支援策（取組） (配点 10 点)	8	9	10
支援策（取組）の実施状況 (配点 40 点)		30	35	38

主な意見等

- ・ C B・S Bのメニュー出しは具体的に数多くするべきだと思う。
地域カルテ作成においては、客観的データが必要であり、行政との協力が重要になる。地域カルテが参加者の主観的な事例集とならないよう注意されたい。
- ・ 特定地域へのアプローチは評価できる。ただし、まだ関われない地域があるのは残念
- ・ 外国人との交流を協働にまでつなげている点が高く評価できる。

2 総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価	A	B	A

主な意見等

- ・ 現状認識した上で対応策を立案し、実施した後に、フィードバックできるような地域カルテを作成されたい。
- ・ 「規約から学ぶ」で、これまでと異なる「まち協」の意義を再確認したり、身の丈にあった活動ということで「やめる勇気」を勧めたりしている点は高く評価できる。イベントへの協力だけではなく、地活協内にNPOや事業者を巻き込み、刺激を与えてもらうと良いのではないかな。
- ・ 積極的な取組みをされ、その成果も見えているように感じる。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
A：本市の求める水準以上の効果が得られた
B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
C：本市の求める水準の効果が得られていない